

～ 湘北地区の人口・世帯数 ～

	人口	世帯数
鶴が台	5,151(- 105)	2,503(- 11)
香川	11,692(+ 78)	4,383(+ 33)
松風台	1,603(- 11)	607(+ 6)
甘沼	5,251(- 38)	2,099(+ 22)
みずき	2,800(+ 507)	947(+163)
湘北地区	26,497(+ 431)	10,539(+213)
茅ヶ崎市	236,462(+1063)	94,361(+932)

人口:2011年2月1日現在
世帯:2010年9月1日現在 [()内は対前年比]



「湘北」は、
湘北地区社会福祉協議会が
毎年2回発行しています。

「湘北地区社会福祉協議会(湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

民生委員・児童委員一覧(敬称略) (*お問合せは82-1111保健福祉課へ

地区	氏名	電話(*)
松風台	有元 佳子	
	伊藤 和子	
	山口 正美	
鶴が台団地	井上 和子	
	古郡 祐子	
	倉林 民子	
	小川 自子	
	瀬高 洵	
	南雲 恵子	
	遠藤 正一	
鶴が台一街区	佐久間 キミ子	

主任児童委員一覧(敬称略)

氏名	電話(*)
湯川 さだ子	
櫻井 あかね	

地区	氏名	電話(*)
甘沼	藤澤 百合子	
	沼上 純子	
	川崎 政雄	
	柿沢 美徳子	
	澄川 篤	
香川	中山 七恵	
	中村 博子	
	岩本 マチ子	
	櫻井 勝	
	小笠原 幸四郎	
	新倉 篤子	
	宮原 澄江	
	野島 勝生	
みずき	菊田 貴美子	
	長谷川 泉太郎	
	市川 章式	
	佐藤 幸雄	

なお、民生委員・児童委員は、相談相手の秘密を厳守し、承諾なしに第三者には伝えないことが法律で義務づけられていますので、何かありましたら安心してご相談ください。

民生委員・児童委員とは、民生委員法により厚生労働大臣から委嘱された方で、身障者、高齢者、母子、児童問題など住民の立場に立った相談や福祉サービスの情報提供、利用支援等の活動を行っています。また、主任児童委員は児童福祉に関する活動を専任で行います。

平成二十二年十二月一日付で民生委員・児童委員と主任児童委員の改選が行われ、左表の方々が湘北地区の委員を委嘱されました。任期は平成二十五年十一月までの三年となります。

決まりました!
新しい民生委員・児童委員と
主任児童委員

～ トピックス ～

- ・決まりました!
新しい民生委員・児童委員と主任児童委員
- ・福祉相談
まずは身近なボラセンへ
- ・分科会だより
～香川公民館祭り～
～まち探検同行記～
～健康づくり講座～
～ボランティア入門講座～
- ・湘北地区市民集会
- ・視察研修
～つつじ学園、白十字会林間学校～
- ・体験レポート
～茅ヶ崎市転倒予防教室～
- ・地域だより
～鶴が台(Eラウンジ)～
～みずき(カフェみずき)～
～鶴が台一街区(ほほえみサロン)～
～育児支援グループ一覽～
- ・編集後記



大盛況!

香川公民館祭り

天候に恵まれた平成二十二年十一月五日から七日の三日間、恒例の公民館祭りが開催され、湘北地区社協も六日(土)のバザーに参加しました。



販売内容は、親子連れに人気の綿菓子・水飴せんべいや地元食材を使ったカレーライスを販売。当日は小学校の公開授業と重なり心配したが、各委員の売り込みで完売、ホッとしました。七日(日)は、焼き鳥・焼きそば・けんちん汁(地産地消の表示)、特に餅つき実演販売には、長い行列で広場いっぱいの人でした。

今年、各自治会掲示板版・駅構内・新聞社等にプログラムを配布し宣伝に努めましたので、昨年より来場者も多く大変盛況でした。一方、湘北第二十二号の記事に「十年後の祭りに向けてタイムカプセルを企画」今からその時が楽しみですね」と。初めてカプセルに入れられた十三年前の各サークル団体のすばらしいメッセージと乳幼児の可愛い絵等が展示又は上映会で『公民館の歴史、今につながる』が披露されて、皆さん感動し十分楽しまれたとのことでした。

毎年売り上げは、地域福祉の活動に使われます。皆様方のご支援とご協力によって、充実した『まつり』を継続する事が出来ました。

中村五初男様に感謝状

平成二十二年十一月二十三日、市民文化会館で行われた茅ヶ崎市社会福祉大会において、地域福祉活動に貢献された功績により、湘北地区社会福祉協議会副会長の中村様に感謝状が贈られました。

問題点がいっぱい!

まち探検同行記

平成二十二年十一月十九日(日)、第二回目となる湘北地区の地域福祉を考える懇談会による「まちたんけん」がおこなわれました。今回はボランティアアセン



タを起点とし香川公民館までを、三コースに分かれて車椅子に乗り、シニヤカーを引いて町を歩き、健康者では見逃しがちな町の不具合点をみつけようとするものです。Aコースは香川小学校西側、Bコースは香川小学校東側、Cコースはユニハードウェア前を通るルートでした。またたんけんには、茅ヶ崎市福祉総務課、茅ヶ崎市社会福祉協議会、地域包括支援センター「あかね」、懇談会メンバーの方々約三十名が参加しました。一時間ほどかけたまちたんけんの後で、公民館内ではルートごとに「振り返り」をして、道路の凹凸や急な傾斜、歩道部に停めた違法駐車、歩道におかれた鉢植えや植栽の枝、横断歩道の不明瞭な表示や車いすでの横断には不足気味な信号の間隔など気づいた点を発表しあい、後日、問題点の対処方法を検討し関係者の協力を頂きながら改善につなげることにしました。

福祉相談

まずは身近なボラセンへ

湘北地区では平成二十三年二月より新しい試みが始まりました。「福祉何でも相談」として悩み事や心配事等の相談に応じます。従来の相談窓口のほかに毎月第一火曜日(一〇時～一二時)が加わりました。悩んだときは地区ボラセンか包括支援センターにご相談下さい。専門の相談員がさまざまな角度から考え、茅ヶ崎市社会福祉協議会と

健康づくり講座

「きいてトクする漢方薬」

平成二十二年十一月十二日(日)香川公民館講義室に於いて、(株)ツムラ 中島実氏を講師に迎えて健康づくり講座を開催し、「きいてトクする漢方薬」と題し、六十名以上の参加者へ漢方薬に関する講座を行って頂いた。講義は、漢方医学の常識クイズとして、①漢方医学は日本の伝統医学であるか? ②漢方薬は長く飲まない効果が出ないか? ③ドクダミは漢方薬であるか? ④漢方薬は副作用がないか? ⑤漢方薬は健康保険がきくか? の問いに対し、中島氏の丁寧な解説で参加者に理解してもらった。



漢方医学は、千八百年前の古代中国で書かれた生薬の配合比や使用目安(症状)が記載された医学書を起源とし、それが日本に伝わり発展を遂げた医学であり、現代でも当時の成分で作られる薬も多くあることを知り、古代の人々の知識に驚きを持った。また現在、ツムラで扱っている漢方薬は植物原料が大半で、動物原料はごく一部であること、漢方薬で使われる生薬の原料は、品種や産地が異なると成分が変わり、安定した品質で供給するには、簡単に国産に切り替えてできないなど、興味深い内容も多く出てきた。

講義に対する質疑時間も多く取られ、その中で、報道で漢方薬に関する話題を見聞きし、その薬は自分にあっているのではないかと問い講師に質問される方が多かったです。しかし講師からは、漢方薬は一人ひとりの体質や病気の症状を見極めながら最適な漢方薬を使い分けていくため、自分で判断せず、必ず医師に診てもらおうようにすることが重要である。漢方薬に興味を持たれた方は、一度病院に行ってみてはいかがでしょうか?

も連携して支援いたします。詳細につきましてはお問い合わせください。

【問合せ先】

◎湘北地区ボランティアセンター ☎(27)2030
(毎週月、木、及び毎月第一火曜日、十時～十二時)

(相談員) 有元佳子、磯野瑠美子、星きよみ

◎地域包括支援センターあかね ☎(5)1535
(毎週月、土、八時三十分～十七時)

(相談員) 阿部洋子

(相談員) 阿部洋子

第四回湘北地区 ボランティア入門講座

今年も「楽しくわかりやすい講座」をモットーに、平成二十二年十月二十三日から四回、香川公民館で十七名の受講者により実施されました。

受講生の中には、各地域で自主的な活動に参加されている方もいて、打ち解けた雰囲気を作りながらも熱心に耳を傾けたり、実際に体験学習をしたり、意見を合ったりと充実した四日間だったように思えます。全日出席者の八名には青木会長から修了証が手渡され、嬉しそうでした。

毎回受講生から寄せられたアンケートの中から一部紹介します。

第一回「講演「ボランティア活動とは」

・福祉やボランティア活動についての背景について、考え方を具体的に事例に基づいて話されたので理解できました。

第二回「体験学習(車いす・アイマスク体験)

・目の不自由さの大変さがわかりました。段差、階段の上り下り、相手との信頼関係の大切さが本当によくわかりました。これから見かけたら進んで手伝ってあげたいです。

・車椅子体験は道路状況で押すほうも乗っている方もこんなに大変なんだということが理解できました。

・シニア体験をしてみても、毎日がこんなに動きづらく、歩くのも大変なことがわかり、気持ちで理解できました。

・第三回「湘北地区にある施設やグループ紹介」
・地域にある施設やボランティアグループの内容を詳しく知ることができ大変良かった。

・第四回「グループワークまとめ」
・4回参加しました。どの回も内容の濃い講座でとても勉強になりました。体験ではする側、される側の気持ちが変わったこと、自分の住んでいる身近に多くの支援場所があることがわかり、機会があったらボランティアに参加したいと思いました。

次回も、皆さんもぜひ参加されてみては如何でしょうか？

「活発な質問や要望」 湘北地区市民集会

平成二十二年湘北地区市民集会が、平成二十二年十一月十四日(日)に香川公民館で行われました。

市民集会は市長が直接地域住民に市政の報告をすると同時に、福祉、教育、安全、町づくり等地域での生活に密接にかかわる住民の質問に答え、住民の要望を市政に反映させる為に毎年行われています。

「視察研修」 白十字会林間学校の訪問

湘北地区社会福祉協議会では、平成二十三年一月十八日(火)浜須賀地区の心身障害児通園施設つじ学園と児童養護施設白十字会林間学校を訪問しました。稲井学園長、山川施設長と各施設関係者の皆様にご案内して頂きました。

最初に訪問したつじ学園は、就学前の知的障害を持つ子供たちや心身障害を持つ子供たちが通園し、療育を通して集団生活・社会生活への適応能力を身につけるとともに、保護者のかかえる問題についても、ともに考え、子供の発達を促すための支援をしています。平成十九年からは、障害児が下校後や、休校期間中に活動する場を提供する日中一時支援事業も行っているそうです。

わが子が障害児という重荷を背負って頑張るお父さん・お母さんに出会った時は、一言でも良い「頑張ってますね」「毎日大変ですね」「具合はどうですか」等と声をかけてあげて下さいとの学園長さんのお話は深く心に残りました。

次に訪問した白十字会林間学校は、さまざまな理由によって家族と一緒に生活できない二歳から十八歳の子供たちが、出来る限り温かい家庭的雰囲気の中で仲間や職員との共同生活を通して社会に自立するための支援、及び市の委託を受け、短期間の宿泊と夕方から夜までの日帰り子供を預かる子育て短期支援事業も行っています。

共同生活の中から、健康と大人への信頼をとりもどし仲間との協調性を身につけて、生まれてきてよかったと自信を持って自立できるよう、寝食を共にして奮闘されるスタッフの皆さんに敬意を表したいと思います。同時に、厳しい社会情勢のなかを、ひとり施設を築立って行く子供たちに対する社会の受け入れ態勢が、多くの方面のご理解を得て一歩一歩前進することを願ってやみません。

「体験レポート」 茅ヶ崎市転倒予防教室

平成二十二年十一月九日(金)、香川公民館での転倒予防教室に参加した。早目にとらえて十分前に覗いたら、すでに沢山の人が来ており、関心の高さに驚いた。受付後、空いた椅子に座ったが、最終的に四十名ほど集まり、そのうち男性の出席者が九名居た。



定刻十時になって、体操がはじまった。最初は、椅子に座っての準備運動、先生の掛け声で手を上下左右に、足を前後左右に、斜めに動かして、軽い運動で身体を慣らして行く。次に、椅子を退かせて「ちがさき体操」を経験した。簡単な動作の組み合わせなのだが、結構運動になった。特に両手を広げ相撲取りを真似た、四股踏み運動は興味深くとても印象に残った。

次は椅子に座って、長さが身長ほどある、幅広いの薄いゴム帯を使っての運動である。黄色、マジエンダ色の帯の両端を持って両手を大きく広げたり、拗じたりする。力に余裕のある人は帯を二重に持つと言うが、結構な筋肉運動になる。胸の前で手洗い洗濯を置る様にゴム帯を斜めに交互に引く運動は遠い昔の洗濯を思い出した。運動の後は、歯医者さんによる、お口ケアの話があって、十一時四十分終了した。転倒予防教室は茅ヶ崎市内の十六会場でそれぞれ月一回の割合で行われており、とても参加しやすいカリキュラムと思う。この日筆者が話かけた七十三才の男性は、すでに十五ヶ所の会場を経験したそうで、頭にハチマキをしての参加、とても元気で健康そうであった。

「みずきだより」(カフェみずき)

カフェみずきは、平成二十一年九月から始まったみずき地区のサロンで、毎月一回、原則第四木曜日に行われている。平成二十二年十二月十六日(木)は、十二月という事でクリスマス会が行われ、約二十名の参加者で開催された。会場に入ると、クリスマスにちなんだ装飾品が多く飾られ、綺麗に彩られたクリスマスツリーが、明るく賑やかな会場の雰囲気を醸し出していた。



カフェみずき主催者による挨拶の後、イベント開始。スタッフによるハーモニカの音色とともに、参加者全員でクリスマスソングを合唱。そして、メインイベントであるビンゴ大会を実施。次々と発表される数字と、手元にあるビンゴカードを比べながら皆一喜一憂。そして、ビンゴとなった参加者は、ツリーそばに置かれたスタッフ手作りのプレゼントが入った袋を一つ選んでいき、皆が受け取ったところで袋の中を確認。参加者の笑顔が溢れた。最後に、ジングルベルを歌いながらプレゼント交換し、楽しい時間は終わりを迎えた。

「地域だより」 鶴が台だより(エラウンジ)

日時：毎週月、火、木、金、土曜日
(祝日休み)
十時～十五時
場所：鶴が台団地 第一集会所
買い物や散歩のとき
ちよっと一休み！お気軽にどうぞ・



「地域だより」 鶴が台一街区だより(ほほえみサロン)

日時：毎月第二、第四水曜日 十時～十四時
場所：鶴が台(一街区) 集会所
お茶無料。コーヒー、紅茶五十円。
お茶してお帰りになる方、手芸、読書、おしゃべり、トランプ遊びなど。昼食を持参して、皆さんと一緒に食べ、「一人で食べるよりおいしいね」と言う会話、笑いのある明るく楽しいサロンです。スタッフも元気をもらっています。是非一度覗いてみてください。



「湘北地区の育児支援グループ」：お問合わせは、湘北地区ボランティアセンターまで

名称	実施場所	開催日	利用料/会費	コメント
きらきらぼし	鶴が台小学校 多目的室	毎週月曜日 10:00～14:00	保険料 年100円	お子さんを自由に遊ばせながら、ほっと一息つける室内公園です。子育て中の保護者がおしゃべりしながらリフレッシュしています。
子育てサロン「みずきッズ」	みずき コミュニティハウス	毎月第2木曜日 10:00～12:30	参加費 50円 (保険料 + 折り紙代)	開設以来多くのママ達のコミュニケーション場として利用されて来ました。皆様のご要望に応じて四月から月二回の開催を目指し、スタッフ一同頑張ります。
子育てサロン スウィートポテト	甘沼自治会館	毎月第4水曜日 10:00～15:00	参加費 50円 (保険代込)	マットや遊具など用意して、乳幼児と保護者の方々の集い、語らいの場を提供しています。ほのぼのとした暖かい輪ができ、安心して過ごせます。
香川 ニコニコサークル	香川自治会館	毎月3回金曜日 10:00～15:00	無料	親子体操、工作教室、手芸などのイベントがあります。飲食自由、給湯室がありますのでミルクも作れます。
茅ヶ崎市 鶴が台保育園	・庭園開放 ・のびのび広場 ・体験保育	毎週木曜日 10:00～12:00 毎月第4土曜日 13:30～15:00 毎月第3水曜日		のびのび広場、体験保育(親子一緒)は申込制です。

「編集後記」

湘北35号を発売して一息つく間もなく、6号の準備が始まりました。秋は行事も多く、主催者に寄稿をお願いすると共に、なるべく自ら行事に参加して記事を書くことに努めました。地域で福祉活動をされている方々や参加された人々の思いの一端がお伝え出来れば望外のことで、大変貴重な経験をさせていただいたこと感謝しています。ご協力頂いた皆様ありがとうございました。(榎本)

「編集スタッフ」

- 榎本 久昭 (甘沼)
- 伊東 治尊 (香川)
- 生月 小夜子 (香川)
- 佐々木 修 (松風台)
- 倉林 民子 (鶴が台)
- 田中 博子 (ライトタウン)
- 堀川 英雄 (みずき)